



## Ms.HERRING LOW TABLE

力強い素材感が美しい、ヘリンボーントップのローテーブル。ヘリンボーンという言葉は「にしん (herring) の骨 (bone)」に由来し、開いた魚の骨に似ているというところから名付けられたそう。織物においては杉の葉に見立てて「杉綾 (すぎあや)」あるいは「綾杉 (あやすぎ)」とも呼ばれる。生地の織りとして、また、古くから床材のパターンとしても広く取り入れられ、その起源ははっきりとしていないらしいが、かのベルサイユ宮殿をはじめ、多くの歴史的建築物で用いられてきた。

クラシカルな香りと気品漂うヘリンボーンは、個性的なパターンでありながらも、実はコーディネート性がきわめて高い。アンティークのような装飾の凝ったものから、モダン、スカンジナビアン、インダストリアル、シャビーシックまで、どんなスタイルともマッチする。Ms.HERRING では、そんな不思議な魅力を持つヘリンボーンパターンを天板に採用。空間に適度な遊び心を添えつつも、きちんと他の要素と調和し、引き立ててくれる、そんなテーブルができあがった。

目を惹く天板とは対称的に、脚部は極限まで細く絞り、あえて存在感の薄いデザインとしている。脚部が主張してしまえば、例えば太い木脚などであったら、前述のようなヘリンボーンの特長が損なわれてしまうからである。繊細な脚部とすることで、シックなシーンにもよく似合う。脚部先端には、がたつきがでて調整できるアジャスターを装備。

躍動感ある木目、控えめな木目、大小の節、白太。様々な表情を持つ無垢材のピースを組み上げた天板だから、とにかく素材感がたまらなく良い。節や白太入りの材が多く使われたものはラスティックな雰囲気になったり、きれいな材が多く使われたものはおとなしく上品な雰囲気になったり、その仕上がりは選べないが、きっと気に入るものが届くはず。どんな顔になるかは、その時の材料と、職人のセンスに委ねられている。樹種はウォールナット材、またはナラ材で製作可能。

ソファの型を選ばないよう、タイプは長方形と正方形の 2 種類をラインナップ。寸法は、ピースの割付と全体プロポーションが美しくなる絶妙なポイントを探った上で設定されている。寸法表記のきりが良くないのはそのためだ。ソファを L 型に組むなら正方形タイプを合わせるバランスが良く、I 型ストレートなら、どちらでも OK。また、実は座卓としてもちょうどいい高さになっている。

[天板]ウォールナット無垢節有材(オイル仕上)/ナラ無垢節有材(オイル仕上) [脚部]スチール [機能]アジャスター付  
日本製 節・白太を含む木材を使用しています。

REMBASSY



TYPE			PRICE
W1368 W1368 D604 H340			[WALNUT] [NARA] 190,800
W943 W943 D943 H340			[WALNUT] [NARA] 190,800

価格はすべて税込表記です。